令和７年度　自己評価・学校関係者評価報告書

令和 8年 3月 1日

学）金沢学園　新庄ベビーホーム

１、　本園の保育目標

・健康で明るく素直な子ども　　・思いやり、勇気、感動を共有できる子ども
・自分の気持ちを表現できる子ども　　・約束を守りみんな楽しく遊べる子ども

２、　本年度重点的に取り組む目標・計画

・個々の乳幼児を大切にし、安全な保育を心掛け、保育の質を高める。

３、　評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	全体的な計画を見直し改善を図る	B	遊び・食事・おやつ・午睡などに配慮し、定期的に話し合いねらいや内容の見直しを行った。
2	保育の質向上のために、園内研修を充実させる	A	PDCA を繰り返し、その結果、遊びが充実し、保育の質の向上が見られた。危機管理への共通理解を図る。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する	B	園内研修や外部研修を充実させたり、特別支援ｺｰﾃﾞﾈｰﾀｰも配置し、家庭や関係機関との連携を図った。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

４、　総合的な評価結果

評価	
B	評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人ひとりの幼児を大切にした、安全な保育を実践する事ができた。また、コロナ禍さらなる保育の質の向上に向けた課題も明確になった。

評価（A・・十分に成果があった　B・・成果があった　C・・少し成果があった　D・・成果がなかった）

５、　今後取り組む課題

	課　題	
1	環境	園庭や改築後の室内の使い方・環境構成について話し合い、安全な保育の確保と遊びが充実するように幼児の発達に添った環境のあり方に取り組むこととした。
2	安全管理	緊急事態発生に備えて、危機管理マニュアル等を保育士間で共通理解し、熱性痙攣にも対応するマニュアル作りと意識の向上の改善を図ることとした。水害危機管理もマニュアル導入。
3	幼保接続	小規模の特性を生かし、保育士や幼稚園教諭と共に学ぶ機会を持ち、「乳幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して保育の共通理解に努める。又、連携と接続の研鑽に励む。

６、学校関係者評価委員会の評価

※委員の総合的見解は、総合評価のＡと同様にほぼ評価が高かった。

１．安全に一年間保育ができたこと、保育環境の改善も多少行った。

２．環境的にも新園舎を有効活用し、保育の質を高めてく配慮に高い評価を得た。

３．総合評価に準じて、おおむね日常課題にも積極的に取り組み委員の評価が高かった。

1.
2.
3.